

学科名	電気通信工学科、情報学科						
科目名	ロボティクス・ロボティックス						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	後期		
必修・選択の別	選択必修科目(組込みシステムコース) 選択科目(電気エネルギーコース) 選択必修科目(情報システムコース)						
担当者	平野 剛						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・ロボットがどのように発展してきたか説明できる。 ・ロボットに必要なセンサの種類およびその利用方法を説明できる。 ・多関節機構を動かすための座標変換を理解し、その計算方法を記述できる。 ・ロボットの制御法について説明できる。 						
日程と内容	9/15 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 9/29 ロボットとメカトロニクス 10/6 ロボットのメカニズムⅠ 10/13 ロボットのメカニズムⅡ 10/20 ロボットのセンサⅠ 10/27 ロボットのセンサⅡ 10/29 ロボットのセンサⅢ 11/10 臨時試験 11/17 ロボットのアクチュエータⅠ 11/24 ロボットのアクチュエータⅡ 12/1 アクチュエータの選定 12/8 ロボットの運動学Ⅰ 12/15 ロボットの運動学Ⅱ 12/22 ロボットの動力学 1/12 定期試験 1/19 定期試験の解説						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験	20%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題	30%	計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	到達目標の項目は十分講義に盛り込むことが出来たが、座標変換や運動学については十分に理解させることができなかった。						
反省点	電気の学生の合格率は45%であるが、情報の学生の合格率は29%であった。これは受講態度でも明らかで、情報の学生は欠席が多く、出席していても寝ており、授業中に演習問題を解かせても殆ど解けなかった。本講義は選択必修科目であり、また情報の学生は数学を高校時代から履修していない者が多くおり、工学系科目であるロボティクスを理解し合格するのは難しいと思われる。						
来年度の計画	自作資料及び映像が評判が良かったので、視覚的に判り易い資料を用いることで、ロボット技術について理解させたい。また、第1回目の講義時に今後必要な数学・物理の知識について学生に告知し、受講するかどうかの参考にさせたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	今回のアンケートでは3点台の項目が一つもなく、4.0から4.2の間で占められていた。また総合評価が8.1であったため授業に対して概ね学生は満足していると思われる。総合評価の理由欄に、「資料に映像を用いている点が良い」との意見があった。						
履修登録者数	52名	定期試験 受験者数	43名	合格者数	16名	合格率	37%